

【第1号議案】

第53年度事業報告書

【概況】

平成29年度の我が国経済はアベノミクスの第2弾である「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」により、企業の稼ぐ力が高まり、企業収益が過去最高水準となる中で、雇用・所得環境が改善し、ゆるやかな回復基調にあると言われていた。しかし、民間の設備投資は思ったほど進まず、民需の回復は遅れており景気回復の実感が伴わない状況であった。GDP(国内総生産)は平成29年度で政府見通し1.5%に対し1.9%(実質)の成長率となっている。(名目では見通し2.5%に対し2.0%になった)

印刷業界においては、デジタル化、小ロット化などにより印刷市場の縮小は続き、仕事の減少と競争激化による単価下落、材料費、輸送費の値上げにより、いっそう厳しさを増した1年であった。

こうした経済状況を背景に、「強いジャグラー」を実現するために第53年度事業を推進してきた。平成26年4月1日より一般社団法人としての組織をスタートして4年目を迎え、ほぼ計画通りの運営ができています。組織拡大については、愛知県支部で5社増強するなど、積極的に活動を行ったが、対前年比2社減という結果であった。次年度はさらに力を入れて活動する。

事業においては、運営基盤戦略会議は組織の活性化や地協、支部のあり方、全国協議会の運営などを検討した。これらにより、本部と地協との距離が縮まった。また、マーケティング委員会が企画した事業承継(M&A)に関する座談会および、全国5箇所で実施したクラウドセミナーが好評であった。PODワーキンググループ会議では実態調査を行い、デジタル印刷機を活用している会員企業の事例紹介などを行った。ジャグラー年賀状デザインコンテストは5回目を迎え、応募点数が年々増加し、盛り上がりを見せた。全国のジャグラー会員にとって、まだまだ年賀状の需要はあり、委員会では気がつかなかったストレートな意見、提案が各社から寄せられた。3回目の実施となるジャグラーコンテスト InDesign はコンテスト参加者に対するレポートを充実させ、参加企業、参加した社員ともに満足度が高まった。ジャグラー作品展については、会員企業からの応募作品のクオリティが高まり、多彩な作品が集まった。個人情報保護については、今期は特に新規でプライバシーマークを取得する会員が増加し、1年間で延べ105社の認定を行い、会員企業の個人情報保護活動を支援した。

また、それらを含め、運営基盤戦略会議、総務・財政、教育・技術、経営革新、市場開拓・マーケティング、環境、個人情報保護、次世代対策が活発な事業展開を行い、中村体制のもと強いジャグラー実現に向けて確実に歩みを進めた。

以下、個々の事業内容は次のとおりである。

〔事業〕

〔1〕運営基盤戦略会議

前年度より、運営基盤戦略会議を新設し、ジャグラの運営、ジャグラの方向性等、今後のジャグラについて、ジャグラ全10地協と次代をになう青年部であるSPACE-21の参加を得て検討することにした。

今年度は、下記の通り開催した。第一回の議題：岩手大会、組織拡大、全国協議会、その他、第二回：全国協議会、組織拡大、交通費の支給、マスターズクラブ、その他、第三回：次期の運営方法、全国協議会、マーケティング委員会よりの提案、佐藤副会長よりの提案…を検討した。

回次	日程	場所
第一回	平成29年5月26日	ニッケイビル会議室
第二回	平成29年10月1日	岐阜県・岐阜グランドホテル
第三回	平成30年2月9日	ニッケイビル会議室

1. 全国協議会の運営について

全国協議会のグループディスカッションは、今までと違う形で開催するため、早坂理事が中心となり、理事、支部長に実施したアンケートをもとに8つのテーマを設定し、各自が好きなテーマに参加するという形で実施した。

◆A テーブル：地域活性化補助金事業にトライし自社営業に生かす

テーブルリーダー：(株)みやもと (栃木県支部) 宮本 誠 コーディネーター：原田大輔

内容：宇都宮に伝わる民話を元に武将、藤原秀郷と妖怪、百目鬼(どうめき)をキャラクター開発し、シールラリーイベントを提案。販売促進物は、チラシ、パンフレット、シール、カード、バッジ・・・など、全て自社製品となり補助金経費(人件費除外)で賄い、地域の活性化と共にプレスリリースなどで自社商品のPRに繋げる。

◆B テーブル：店舗活性化による再創生

テーブルリーダー：(有)東和プリント (山梨県支部) 樋貝浩久 コーディネーター：竹田正司

内容：コミュニケーションをベースとした店舗活性化について考える。本社移転に伴い、駅近の立地を生かしプリントショップを展開。待つ印刷から物を売る印刷へ。缶バッチやうちわなどの印刷商材を地域のイベントで社員が販売することで、社員のコミュニケーション力向上と会社のPRに繋げる。

◆C テーブル：ネット受注による売り上げ確保

テーブルリーダー：(株)研美社 (中央支部) 中田逸郎 コーディネーター：齋藤秀勝

内容：今後も拡大するネット通販について考える。ネット通販で活路を見出そうと、独学でホームページの勉強を行い、平成12年に挨拶状印刷サイトを立ち上げる。後に知り合いにサイトを譲り、そのサイトは挨拶状ではトップブランドに成長。その後カード印刷にアイテムを絞り、ネット受注に特化して営業を行っている。

◆D テーブル：高齢化社会における市場のニーズ開拓

テーブルリーダー：(株)清水工房 (三多摩支部) 比嘉良孝 コーディネーター：菅野 潔

内容：これから迎える高齢化社会で印刷業としてどのようなビジネスチャンスがあるか考える。例えば、高齢者のニーズ、葬儀社とのコラボ、終活、エンディングノート、自分史、出版物の開拓、老人ホーム、介護施設等での説明・相談会の実施など。

◆E テーブル：業態変革による経営

テーブルリーダー：(株)イデアル (大阪府支部) 佐藤 元 コーディネーター：中村 盟

内容：製造工程の改革など新しい経営を考える。自社生産をやめ、アライアンスの形態で印刷工場を立ち上げる。コア企業に出資を募り基本形態を形成、さらに作業量を確保するため、会員制度を立ち上げ参加を募る。大胆な手法で製造工程を変革し、新しい経営を模索する。

◆F テーブル：民間団体とのコラボでビジネス創出

テーブルリーダー：(株)新踏社 (奈良県支部) 安達 研 コーディネーター：宮崎 真

民間団体とのコラボビジネスを考える。「寄付金ビジネス」として「奈良の鹿愛護会」「盲導犬訓練センター」と組んだ「ノーモ」が好評。新聞社のイベント商品や大学のオープンキャンパス、また、様々なイベントに出展して販売、さらに拡大を目指す。

◆Gテーブル：コミュニケーションによる地域の魅力発見

テーブルリーダー：(株)ウイング(和歌山県支部) 松下 忠 コーディネーター：坂本圭一朗
 内容：コミュニケーションをベースにした観光活動と営業展開を考える。世界遺産である高野山の観光ガイドブックを自社にて出版。また、ボランティアでの観光フリーペーパー発行は10年目を迎える。その活動の一環として市の観光プロモーションに参画。コミュニケーションをベースとした営業展開を図る。

◆Hテーブル：地域の魅力を掘り起こし活性化につなげる

テーブルリーダー：(有)松永印刷(鹿児島県支部) 松永英明 コーディネーター：早坂 淳
 地域密着型の印刷業ならではのビジネスについて考える。地元の人しか知らない物や事を発見して、それに磨きをかけてネットやSNSを使い世界に発信していく。

ディスカッションのまとめは、その日の夜に入力・オンデマンド印刷され、翌日に配布した。また、吉岡新理事による講評を実施した。内容については機関誌12月号に掲載した。

〔2〕総務

1. 総務・財政

(1) ジャグラー文化典の開催

①日程

ジャグラー文化典は平成29年6月9日～12日、岩手県盛岡市において開催した。
 ジャグラー文化典期間中とその前後は、次の行事を実施した。

月日	時間	行事	会場	備考
6月9日	09:00～	記念ゴルフ大会	メイプルカントリークラブ	
	18:00～	特別宿泊プラン	繋温泉・ホテル紫苑	
	18:30～	ウエルカムパーティ	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング	
6月10日	12:00～	ジャグラー作品展の展示	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング	
	14:00～	ジャグラー定時総会		
	16:00～	ジャグラー文化典式典		
	17:00～	ジャグラー文化典記念講演会		
	18:00～	ジャグラー文化典懇親会		
6月11日		記念観光(日帰りコース)	盛岡～岩泉・龍泉洞～三陸海岸～田老被災地～浄土ヶ浜～鯨ヶ崎被災地～山田町～釜石市～大槌町～遠野～いわて花巻空港～山の神温泉～盛岡駅	
6月12日		記念観光(日帰り+宿泊コース)	山の神温泉～毛越寺～平泉・中尊寺～正法寺～えさし藤原の郷～宮沢賢治記念館～いわて花巻空港～盛岡駅	

②表彰

ジャグラー文化典式典において、以下の表彰をした。

(a) 業界功労賞

賞名	受賞者	会社名	支部
賞名	氏名	会社名	支部
発展功労賞	谷 忠明	(株)オレンジ社	東京都
発展功労賞	伊藤 文雄	(有)小池印刷	長野県
発展功労賞	都築 延男	(有)一粒社	愛知県
優良専従職員賞	今田 豪	ジャグラー事務局	員外

(b) 社会貢献表彰

なし

(c) 優良従業員表彰

6社((株)あいわプリント、カガワ印刷(株)、(株)研美社、タナカ印刷(株)、NS印刷製本(株)、中央プリント(株))7名を表彰した。

(2) 日本自費出版文化賞

日本自費出版文化賞は、NPO法人自費出版ネットワークを主管団体にして実施している。

① 第20回日本自費出版文化賞

第20回日本自費出版文化賞は以下の日程で実施した。

平成28(2016)年11月1日	公募開始
平成29(2017)年3月31日	公募締め切り
平成29(2017)年4月～6月	第一次選考
平成29(2017)年7月8日	第二次選考会(ニッケイビル)
平成29(2017)年9月6日	最終選考会&記者発表(吉祥寺東急REIホテル)
平成29(2017)年10月8日	第20回日本自費出版文化賞表彰式(アルカディア市ヶ谷)

② 第20回日本自費出版文化賞の結果

応募総数は566点(地域文化部門84点、個人誌部門100点、小説部門89点、エッセイ部門78点、詩歌部門64点、研究・評論部門90点、グラフィック部門61点)の中より、一次選考、二次選考、最終選考を経て、次の作品が入賞した。

主な入賞作品

賞	作品名	著者名
大賞	シベリア(三部作) 第一部白墓の丘/第二部望郷の風雪無常/第三部埠頭の華	林 照
地域文化部門賞	万人に文を一橋本義夫のふだん記に至る道程一	橋本 鋼二
個人誌部門賞	長崎 幻の響写真館 井手傳次郎と八人兄妹物語	根本 千絵
小説部門賞	お猫さま	山内 兄人
エッセイ部門賞	へんろみちーお四国遍路だよりー	あいち あきら
詩歌部門賞	戦争を食らうー軍属・深見三郎戦中記ー	玉川 侑香
研究評論部門賞	庶民が描く暮らしの記憶ーふるさとを共有する「現代絵農書」ー	清水 ゆかり
グラフィック部門賞	パパの柿の木	谷口 真知子
特別賞	徳島県塩業写真資料集	小橋 靖
特別賞	恋するひじりたち	島 雄
特別賞	浮遊する記憶	加葉 まひろ

特別賞	『真珠のいろの陽を揚げ』『アーネジェウ』	加藤 美智子
特別賞	市之川鉦山物語	田邊 一郎
特別賞	原爆の怖さの物語—原爆被爆70年（今伝えたい）—	兒玉 智江

最終審査員（敬称略・順不同）

氏名	専門	役職
色川大吉	歴史家	審査委員長
鎌田 慧	ルポライター	
中山千夏	作家	
秋林哲也	編集者	
佐藤和夫	哲学思想研究者	
藤野健一	編集者	
小池一子	クリエイティブ・ディレクター	
成田龍一	大学教授	

後援（敬称略・順不同）

朝日新聞社
 小学館スクウェア
 一般社団法人日本印刷産業連合会
 公益社団法人日本図書館協会
 日本自分史学会
 関東複写センター協同組合

協賛会社（敬称略・順不同）

富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社
 リョービMH I グラフィックテクノロジー株式会社
 株式会社モリサワ
 ホリゾン・インターナショナル株式会社
 株式会社ショーワ
 株式会社渋谷文泉閣

③ 第21回日本自費出版文化賞

第21回日本自費出版文化賞は以下の日程で実施している。

募集開始	平成29（2017）年11月01日
締め切り	平成30（2018）年3月31日
一次選考	平成30（2017）年4月～6月
二次選考会	平成30（2017）年7月 最終選考会候補作品が決定
最終選考会	平成30（2017）年9月 入賞作品、大賞、入選作品が決定
表彰式	平成30（2017）年10月7日 表彰式（アルカディア市ヶ谷）

(3) 会館運営

ニッケイビル空室の三階は引き続き募集をしていたが、平成30年2月16日より下記入居者が入居した。
 一般社団法人全国鍼灸マッサージ協会

(4) 財政 (会館含む)

①会館会計

借入金明細表 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

(単位:円)

金融機関	借入金	前期末	今期返済額	借入金残高
巢鴨信用金庫	206,500,000	111,900,000	20,640,000	91,260,000
合計	206,500,000	111,900,000	20,640,000	91,260,000

借入金利率(平成 30 年 3 月 31 日現在)

(単位:円)

金融機関	借入金	利率	基準
巢鴨信用金庫	206,500,000	1.105%	短期プライムレート-0.37%

借入金支払利息(平成 29 年 4 月 1 日~平成 30 年 3 月 31 日)

(単位:円)

金融機関	借入金	借入金残高	支払利息
巢鴨信用金庫	206,500,000	91,260,000	1,130,106
合計	206,500,000	91,260,000	1,130,106

ニッケイビルテナント

平成 30 年 3 月 31 日

階層	坪数	テナント名
9F/B	15.08	共用会議室
9F/A	12.34	ジャグラ BB スタジオ
8F	38.48	共用会議室
7F	45.83	ジャグラ・東グラ
6F	51.40	サブティー(株)
5F/B	32.90	(公財) 医用原子力技術研究振興財団
5F/A	18.50	(株) 現代空調研究所
4F	51.40	(株) 西村機械製作所
3F	55.09	(一社) 全国鍼灸マッサージ協会
2F	55.09	PET ボトル協議会
1F	37.14	ジャグラパソコン教室
計	413.25	

②グループ保険の支部別加入状況

グループ保険現在加入数

H30(2018)/3/31 現在

支部・地協	18.3.31 会員数	従業員	17.3.31 加入数	18.3.31 加入数	加入 増減	支部・地協	18.3.31 会員数	従業員	17.3.31 加入数	18.3.31 加入数	加入 増減
北海道	13	251	21	23	2	岐阜	0	0	0	0	0
青森	1	12	0	0	0	静岡	4	30	1	1	0
岩手	22	75	10	9	-1	愛知	55	784	46	43	-3
宮城	22	150	21	20	-1	三重	0	0	0	0	0
秋田	18	111	12	12	0	東海計	59	814	47	44	-3
山形	8	56	4	4	0	滋賀	5	21	4	4	0
福島	12	263	32	32	0	京都	16	150	43	40	-3
東北計	83	667	79	77	-2	大阪	81	1,301	126	144	18
茨城	16	105	21	20	-1	兵庫	20	224	0	0	0
栃木	11	109	2	2	0	奈良	4	44	10	10	0
群馬	4	140	1	1	0	和歌山	4	51	0	0	0
埼玉	6	19	0	0	0	近畿計	130	1,791	183	198	15
千葉	20	189	12	12	0	鳥取	2	7	0	0	0
神奈川	33	503	21	20	-1	島根	0	0	0	0	0
山梨	15	85	24	24	0	岡山	4	18	0	0	0
長野	18	197	3	3	0	広島	12	81	19	19	0
関東計	123	1,347	84	82	-2	山口	6	53	2	2	0
千代田	55	1,797	74	67	-7	中国計	24	159	21	21	0
中央	29	299	3	2	-1	徳島	10	67	8	8	0
港	24	302	8	8	0	香川	14	82	7	7	0
新宿	60	364	59	56	-3	愛媛	13	126	0	0	0
文京	51	654	28	26	-2	高知	16	109	2	2	0
城東	33	373	39	37	-2	四国計	53	384	17	17	0
城西	12	136	3	3	0	福岡	21	166	12	12	0
城南	15	129	6	6	0	佐賀	0	0	0	0	0
城北	0	0	0	0	0	長崎	0	0	0	0	0
三多摩	22	180	16	13	-3	熊本	8	74	0	0	0
JaGra	0	6	6	6	0	大分	11	83	3	3	0
東グラ	0	5	5	5	0	宮崎	1	5	0	0	0
東京計	301	4,245	247	229	-18	鹿児島	5	37	3	3	0
新潟	22	353	0	0	0	沖縄	3	28	0	0	0
富山	8	38	2	2	0	九州計	49	393	18	18	0
石川	11	111	0	0	0						
福井	2	8	0	0	0						
北陸計	43	510	2	2	0	全国計	878	10,561	719	711	-8

(5) 公益法人改革

①公益目的支出計画実施報告書の記載修正

ジャグラは、平成26年4月1日より一般社団法人日本グラフィックサービス工業会として活動している。

これに伴い、毎年度終了後、内閣府に所要の報告をしているが、平成28年度公益目的支出計画実施報告書の記載修正を求められた。

これについては、すでに対応している。決算書への影響はない。

②公益目的財産額と公益目的支出計画

公益目的財産とは、これまで公益法人として税制等の利益を享受し蓄積してきた財産は公益目的に利用することを要請されているもので、一般社団法人に移行した前日の財産がこれに相当する。

ジャグラは、公益目的財産を利用する公益事業としては「個人情報保護の推進とプライバシーマークの資格審査業務」「印刷技術向上等のためのジャグラBBによる情報配信事業」「DTPスクールの運営事業」の3事業を計画して申請している。

これまでの公益目的財産額の推移は次のとおりである。(単位：円)

年度	移行申請時の計画 (収入－支出)	毎年の計画 (収支予算)	毎年の実績 (決算書)	公益目的財産残額
平成26年3月31日				257,431,570
平成26年度	18,306,160	30,064,208	19,322,560	238,109,010
平成27年度	18,306,160	28,254,684	16,724,557	221,384,453
平成28年度	18,306,160	28,096,297	23,223,362	198,161,091
平成29年度	18,306,160	33,434,152	24,977,900	173,183,191

なお、今後の注意点として、公益目的支出計画の15年間(平成41年3月末まで)より早く公益目的支出計画が終了する場合は「届け出」だけですむが、15年より遅くなる場合は、改めて事前に変更計画を申請して「承認」を得る必要があることに留意したい。

(この項目は毎年、掲示して、誤解のないようにしていきたい)

2. 組織拡大

(1) 委員会の活動

今年度は単独での委員会は開催できなかった。

組織拡大部会ではないが、ジャグラでは理事会のほか、運営基盤戦略会議や広報委員会にて組織拡大をテーマに検討し、組織拡大に取り組んできた。その結果、ジャグラとしての今年度の組織拡大目標は900社とし、支部長に会員拡大を呼びかけた。

その結果、900社は達成できなかったが、期首よりマイナス2社の878社となった。

(2) 関東複写センター協同組合との協議

組織拡大とは別に、関東複写センター協同組合との協議を重ねてきた。その結果、関東複写センター協同組合の組合員のジャグラへの加入で合意を得た。しかしながら、加入の日付は平成30年4月1日となり、今年度の加入とはならなかった。

(3) 組織拡大表彰

組織拡大の表彰は、それまで入会があり実質増になった支部のほか、入会があった支部を表彰していたが、昨年度は、地協活動費を支出したこともあり、入会があり実質増になった支部を表彰することにした。

表彰された支部7支部

秋田県支部、福島県支部、茨城県支部、東京・新宿支部、東京・文京支部、知県支部、徳島県支部

(4) 支部別会員数

平成30年3月末現在の支部別会員数は表の通りである。

表 支部別会員数 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

支部・地協	29.04.01 会員数	入会	退会	増減	30.03.31 会員数	支部・地協	29.04.01 会員数	入会	退会	増減	30.03.31 会員数
北海道	12	1	0	1	13	岐阜	0	0	0	0	0
青森	1	0	0	0	1	静岡	4	0	0	0	4
岩手	23	1	2	-1	22	愛知	50	6	1	5	55
宮城	23	0	1	-1	22	三重	0	0	0	0	0
秋田	17	1	0	1	18	東海計	54	6	1	5	59
山形	8	0	0	0	8	滋賀	5	0	0	0	5
福島	12	0	0	0	12	京都	16	0	0	0	16
東北計	84	2	3	-1	83	大阪	81	1	1	0	81
茨城	17	0	1	-1	16	兵庫	20	0	0	0	20
栃木	11	0	0	0	11	奈良	5	0	1	-1	4
群馬	4	0	0	0	4	和歌山	3	1	0	1	4
埼玉	6	0	0	0	6	近畿計	130	2	2	0	130
千葉	22	0	2	-2	20	鳥取	2	0	0	0	2
神奈川	33	1	1	0	33	島根	0	0	0	0	0
山梨	14	1	0	1	15	岡山	4	0	0	0	4
長野	18	0	0	0	18	広島	10	2	0	2	12
関東計	125	2	4	-2	123	山口	6	0	0	0	6
千代田	59	0	4	-4	55	中国計	22	2	0	2	24
中央	27	3	1	2	29	徳島	9	1	0	1	10
港	24	1	1	0	24	香川	14	0	0	0	14
新宿	61	2	3	-1	60	愛媛	13	0	0	0	13
文京	56	2	7	-5	51	高知	16	0	0	0	16
城東	32	1	0	1	33	四国計	52	1	0	1	53
城西	13	0	1	-1	12	福岡	21	0	0	0	21
城南	15	1	1	0	15	佐賀	0	0	0	0	0
城北	0	0	0	0	0	長崎	0	0	0	0	0
三多摩	22	0	0	0	22	熊本	8	0	0	0	8
東京計	309	10	18	-8	301	大分	10	1	0	1	11
新潟	22	0	0	0	22	宮崎	1	0	0	0	1
富山	8	0	0	0	8	鹿児島	6	0	1	-1	5
石川	11	0	0	0	11	沖縄	3	0	0	0	3
福井	2	0	0	0	2	九州計	49	1	1	0	49
北陸計	43	0	0	0	43	全国計	880	27	29	-2	878

(5) 従業員規模別入会退会数

従業員規模別の入会・退会数は表の通りである。

従業員規模	1～4	5～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～	合計
■入会社数	16	8	1		2			27
■退会理由								
倒産								0
廃業(転業・合併)	3	3	2					8
経営不振(事業の縮小・一身上の都合)	5	3	3	1			1	13
会費滞納								0
メリットなし		2	1					3
不明・その他	3	1	1					5
合計	11	9	7	1	0	0	1	29

(6) 組織拡大パンフレット

今年度、組織拡大パンフレットを新たに作成することにしたが、事業効率アップを図るため、東京地協と足並みを合わせて作成することにした。

東京地協のパンフレットが完成したので、ジャグラー版の作成を検討しているところである。検討は広報委員会が担当している。

(7) 賛助会員との連携

今年度は賛助会員とのネットワークを強めるため、全国協議会の懇親会に賛助会員を招いて交流を深めた。

3. 広報

(1) 機関誌の定期発行

機関誌の定期発行に向けて、毎月一回、広報委員会を企画ベースにて開催している。

- ・平成29年4月号：「ジャグラーコンテスト InDesign ファイナリスト座談会」
- ・平成29年5月号：「事業承継を考える④」「人材開発支援助成金」
- ・平成29年6月号：「ジャグラー作品展入賞作品決まる」「ジャグラー文化典 写真速報」
- ・平成29年7月号：「ジャグラー文化典岩手大会開催される」「事業承継を考える⑤」
- ・平成29年8月号：「年賀状デザインコンテスト入賞決まる」「需要創出を考える②」
- ・平成29年9月号：「デジタル印刷の現状と展望」「震災体験と復興の軌跡」
- ・平成29年10月号：「POD活用先進企業を訪ねて①」「青年部の台湾旅行記」
- ・平成29年11月号：「POD活用先進企業を訪ねて②」「環境委員会が(株)プリプレス・センターを訪問」
- ・平成29年12月号：「全国協議会を開催」「DTP制作環境アンケート調査の結果」
- ・平成30年1月号：「会長+青年部の座談会」「POD活用先進企業を訪ねて③」
- ・平成30年2月号：「賛助会員に聞く①」「JIS改正に伴うPMS変更の留意点①」
- ・平成30年3月号：「Page2018 見てある記」「JIS改正に伴うPMS変更の留意点②」

(2) 各事業部の情報発信

今年度より、各事業部より情報発信をしていただくため、広報担当委員を選任していただくよう要請した。

(3) ウェブでの情報発信

機関誌での情報提供のほかウェブでの情報発信を図った。

(4) 『エジソンを超えて』 発刊

ジャグラは平成27年に結成60周年・法人設立50周年を迎えたが、ジャグラの前身である謄写印刷のことを知らない会員が増えてきたので、先人の努力の跡を記録し、後進に伝えるために『エジソンを超えて』を発刊した。(※エジソンは謄写印刷(ミメオグラフの発明者))

編集に当たっては、謄写印刷に詳しい滋賀県支部・サンライズ出版(株)・岩根順子社長の協力を得て発刊に至った。

『エジソンを超えて』は全会員に配布したほか、ジャグラなど印刷関連10団体で構成する日本印刷産業連合会や、印刷10団体、行政等にも配布した。

〔3〕教育・技術

1. ジャグラBB

ジャグラBBは業界初のインターネット放送として平成18年7月にスタートした。現在は会員の情報収集の軸となるべく、セミナーなどの教育、ジャグラニュースなど業界情報の提供、支部や地協で開催されたイベント紹介、ジャ・グルメなど親睦ツールとして利用されている。

(1) 番組配信実績

ジャグラBBでは現在、158タイトル315本の番組を配信している。

平成29年度の番組制作実績は全53タイトル(84本)であった。以下カテゴリー別に記載する。

① 経営カテゴリー 計8タイトル

『個人情報保護法』全面改正等について(1/2)前編

『個人情報保護法』全面改正等について(2/2)後編

事業承継対談 Vol.4 りそな銀行 プライベートバンキング部 部長 根本賢治

事業承継対談 Vol.5 たなか経営研究所 田中肇所長

事業承継対談 Vol.6 (株)トライス 岸徹社長/ (株)ウイング 松下忠社長

シリーズ経営と環境 日印産連 環境優良工場表彰 株式会社プリプレス・センター様(北海道) 訪問記

【働き方改革】松岡勇樹氏特別講演「国東時間」と「ものづくり」

新JIS全面改正に基づくプライバシーマーク審査基準のポイントについて【個人情報保護セミナー】

② 教育と技術カテゴリー 計23タイトル

知らないと損をするExcelの仕事術 No.01 「ユーザー定義書式を駆使して思い通りの表示にしよう」

知らないと損をするExcelの仕事術 No.02 「関数を使って曜日を自動表示・自動入力しよう」

知らないと損をするExcelの仕事術 No.03 「セル内で改行してすべてを表示する」

知らないと損をするExcelの仕事術 No.04 「条件によってセルカラーを変更する」

知らないと損をするExcelの仕事術 No.05 「データの入力規則」

知らないと損をするExcelの仕事術 No.06 「セル参照(相対参照・絶対参照・複合参照)」

知らないと損をするExcelの仕事術 No.07 「関数の基本」

知らないと損をするExcelの仕事術 No.08 「用途が広がるif関数の基本的な使い方を解説」

知らないと損をするExcelの仕事術 No.09 「ちょっと高度なSUMIF関数の基本的な使い方を解説」

知らないと損をするExcelの仕事術 No.10 「自動入力で効率アップ! VLOOKUP関数の使い方を解説」

知らないと損をするWordの仕事術 No.01 「クイックアクセスツールバーを…」

知らないと損をするWordの仕事術 No.02 「入力オートフォーマットを駆使…」

知らないと損をするWordの仕事術 No.03 「行間が固定されて指定した行間…」

知らないと損をするWordの仕事術 No.04 「罫線を引きたいのに四角形が出て…」

知らないと損をするWordの仕事術 No.05 「リボンタブの有効活用法(その1)」

知らないと損をするWordの仕事術 No.06 「リボンタブの有効活用法(その2)」

知らないと損をするWordの仕事術 No.07 「Word2003に慣れている方へリボンタブのカスタマイズ」

知らないと損をするWordの仕事術 No.08 「旧バージョンのように起動時に白紙ドキュメントを表示する」

ワザコレ! No.01 (投稿者: (株)イナミツ印刷)

ワザコレ! No.02 (投稿者: (株)ケイスイ)

ワザコレ! No. 03 (投稿者: (有) 原田シール印刷所)

ワザコレ! No. 04 (投稿者: (株) ニシキプリント)

ワザコレ! No. 05 (投稿者: (株) ニシキプリント)

③セミナーカテゴリー 計11タイトル

決定版! いまさら聞けない補助金活用の秘訣 経営革新・経営改善の方法論

経営者・リーダーのための「アンガーマネジメント」講座

ビジネスライフに活かす色彩力 「色で伝える」～心理的効果とテクニック

印刷業界健康セミナー「歩き方と座り姿勢」～営業さんオペレータさん必見!!～

ビジネスアイデアコンテスト2016入賞作品 最終プレゼンテーション

広げよう! ビジネスの輪 始めよう! 新しい提案「ビジネス交流プレゼン大会」

インバウンド対応作戦会議～2020に向けみんなで創ろうビジネスチャンス!!

ジャグラ文化典岩手大会講演「震災体験と復興の軌跡」

ビジネスマッチングサロン2017

ドローン業界の現状と活用に向けて(ジャグラ全国協議会特別講演)

経営者のためのクラウドとAIについてわかりやすく解説するセミナー

④ニュースカテゴリー 計10タイトル

JaGra ニュース2017 Vol. 394(2017. 4. 18)「大平山上空を飛んでる気分、ドローン活用、VR体験」

JaGra ニュース2017 Vol. 395(2017. 5. 22)

JaGra ニュース2017 Vol. 396(2017. 6. 21)

OGS ニュースの紹介(大阪)【ジャグラニュース番外編】

会報ジャグラ四国(四国地協)【ジャグラニュース番外編】

平成28年度ジャグラ作品展・大臣賞受賞者インタビュー(平成29年・岩手大会にて)

JaGra ニュース2017 Vol. 397(2017. 7. 21)

ジャグラコンテスト第3回 InDesign トップオペレーター発掘プロジェクト!

ビジコンmini だよ! 全員集合～審査結果発表生放送～

JaGra ニュース2018 Vol. 398(2018. 1. 30) 賛助会員企業訪問 アドビ システムズ 株式会社

⑤BB ネットワークカテゴリー 計1タイトル

インサツノオト。No. 01 ハイデルベルグ プラテン印刷機

(2) 番組助成プログラム

平成25年1月より開始した、地協、支部、若手の会などジャグラ会員で構成される団体が開催するセミナーの動画を撮影、編集してもらい、ジャグラBBで配信する。その際、委員会から組織に対して助成金

(10,000円)を支払うプログラムを実施している。編集作業はハードルが高いため、当面の措置として未編集の動画も対象として受け付けている。視聴件数が多いものや優れた企画などは委員会で特別賞を選び、総会で表彰する。

今回は9タイトルの番組が候補となっている。4月21日の教育・技術委員会にて特別賞が決定され、6月2日の定時総会にて表彰する。

(3) バナー広告の募集

ジャグラBBのバナー広告を募集した。ジャグラBBリニューアルに伴い、広告はトップページバナーに集約し、番組視聴ページのバナー広告は廃止した。掲載料金は、ジャグラ会員/賛助会員が月5,000円、一般は月10,000円。

2. デジタル教育

(1) ジャグラプロフェッショナルDTP&ウェブスクールの運営

①DTP 関連講座

「DTP 入門」「Illustrator ベーシックトレーニング」「Illustrator アドバンストレーニング」「Illustrator スキルアップ～作図・描画編」「Illustrator スキルアップ～文字組み・レイアウト編」「Photoshop ベーシックトレーニング」「Photoshop 実務必須テクニック」「InDesign ベーシックトレーニング」「InDesign 実務必須テクニック」「InDesign 実践講座～縦組み小冊子編」「InDesign 実践講座～Excel 連携&応用機能編」「Acrobat ベーシックトレーニング」「DTP のための PDF」

②Web 関連講座

「Web 業務ベーシックトレーニング～必須基礎知識編」「Web 業務ベーシックトレーニング～HTML マークアップ編」「Web 業務ベーシックトレーニング～CSS 編」「HTML+CSS 実践トレーニング」「jQuery ではじめる JavaScript 入門」「CSS3 アニメーションでつくるインターフェイス表現」「はじめての Google アナリティクス講座」「アクセスアップにつなげる SEO 基礎講座」

③ビデオ関連講座

「ゼロから学ぶ映像制作実習講座」「Premiere Pro ベーシックトレーニング」「After Effect ベーシックトレーニング」

④パッケージコース

「まとめてお申し込み優待（法人 80,000 円以上／個人 60,000 円以上）」

⑤貸し教室および専門教育受託関連

DTP で 1 社、Illustrator・Photoshop で 1 社、Web で 1 社、ビデオで 1 社、Illustrator で 1 社、Illustrator で 1 社、ビデオで 1 社、Illustrator で 1 社、Lightroom で 1 社、PDF で 1 社

⑥アプリケーションおよびPC 環境のバージョンアップ

2017 年 9 月、アドビ系アプリケーションを Adobe CC から Adobe CC2017 にバージョンアップした。また、PC が導入後満 5 年を迎え、動作不良が目立ってきたため、ハードディスクの交換とメモリ増設を行った。

(2) 東北芸術工科大学の必修科目を受託

東北芸術工科大学（山形市）のデザイン工学部一年次後期必修科目「デジタル表現演習」について、カリキュラム立案と非常勤講師・講師アシスタント派遣を受託。デザイン工学部の映像学科、建築・環境デザイン学科の計 2 クラスに講師とティーチングアシスタントを派遣した。

また、文芸学科二年次通年選択必修科目「DTP 演習」および映像学科の「夏期集中講義」について、カリキュラム立案と、非常勤講師・講師アシスタント派遣を受託した。

3. ジャグラ BB 企画部会

ジャグラ BB 企画部会は、教育・技術委員会のジャグラ BB 運営（サイト構築、PR、番組作成）に関する事業を推進する部会として平成 28 年度より組織された。

また、Facebook 内に企画部会のグループを作成し、業務連絡および企画について進捗管理、内容の精査などを行っている。

- ・第 1 回 平成 29 年 4 月 13 日 ジャグラ BB スタジオにて開催
- ・第 2 回 平成 29 年 6 月 23 日 ジャグラ BB スタジオにて開催
- ・第 3 回 平成 29 年 8 月 30 日 ジャグラ BB スタジオにて開催
- ・第 4 回 平成 29 年 9 月 28 日 ジャグラ BB スタジオにて開催
- ・打合せ 平成 29 年 10 月 25 日 ジャグラ BB スタジオにて開催
- ・第 5 回 平成 30 年 2 月 23 日 ジャグラ BB スタジオにて開催
- ・第 6 回 平成 30 年 4 月 4 日 ジャグラ BB スタジオにて開催

4. ジャグラコンテストの実施

(1) ジャグラコンテスト第3InDesignについて

ジャグラ会員企業オペレーターの技能向上を目的とし、コンテストで技能を競い合うことにより、自社オペレーターの相対的な技量を図れるようにと企画された。

ジャグラ会員企業に所属するオペレーターから応募者を募り、第1次審査では、会社や自宅で取り組む制作課題をWeb経由で提出することとし、第1次審査上位得点者から選抜された10名で第2次審査の実技試験をおこない、優勝者を決定する。

① 推進体制

教育・技術委員会の選抜メンバー6名+外部専門委員6名からなるジャグラコンテスト推進部会で実施し、部長は笹岡誠理事（東京）が担当した。

氏名	区分	会社名	都道府県	ジャグラ役職
笹岡 誠	部会長兼 専門委員	(有)ドゥ・プラン	東京	理事
影山 史枝	専門委員	(株)スイッチ	東京	ジャグラスクール講師
谷 麻雄	専門委員		千葉	ジャグラスクール講師
波多江潤子	専門委員	(株)スイッチ	東京	ジャグラスクール講師
樋口 泰行	専門委員		埼玉	ジャグラスクール講師
古山 裕也	専門委員	ウィザップ(株)	新潟	コンテスト第1回優勝
戸田 大作	専門委員	日経印刷(株)	東京	コンテスト第2回優勝
熊谷 正司	委員	(株)くまがい印刷	秋田	副会長
沖 敬三	委員	勝美印刷(株)	東京	専務理事
宮崎 真	委員	(株)ニシキプリント	広島	理事
谷川 聡	委員	(株)北斗プリント社	京都	理事
松永 英明	委員	(有)松永印刷	鹿児島	九州地協会長

② 第1次審査について

(a) コンテストの申し込みは6月13日に締め切った。参加者数は目標200名としていたが、47社143名であった。第1次審査の課題は小問題4問を出題、問題文および課題制作用支給データ一式をWeb上からダウンロードする形式をとった。課題データのダウンロードは6月19日13:00より開始し、7月10日24:00に完成データの提出を締め切った。

(b) 採点は課題の問題を作成した専門委員4名が行った。採点終了後、25位までの順位および課題別上位得点者3位までを9月下旬にWeb上で発表した。

(c) 第1次審査の採点結果を10月上旬に発送した。

各受験者へは総合得点と順位、オペレーターとして必要なスキルレベルを持ち合わせているかを示す必須項目の習得状況を掲載したレポート、必須項目を80%以上クリアした受験者には認定書を送付した。

管理者・経営者には、会社ごとの受験者の順位と、企業の強み弱みがわかるポジショニングマップを掲載した資料を添付した。

③ 第2次審査について

(a) 第2次審査の実技試験は10月14日ジャグラ本部1階DTPスクール会場でおこなった。試験当日の持ち込み可能な私物はキーボード等の入力装置、筆記用具、スケール、電卓、USB起動可能なテキストエディタとし、試験終了後にUSBメモリに保存して提出させることとした。

(b) 第2次審査の試験時間は120分のため、第1次審査で確認できなかったInDesign機能群を中心に、課題1問を出題した。採点は100点満点でおこなった。

(c) 第2次審査は下記の11名が受験した(第1次審査得点順)。

※3位、11位入賞者が第2次審査を辞退したため、同点12位の2名が第2次審査に進出した。

1位	富永 朋子	陽光社印刷(株)	(福島)
2位	大貫 恵理	日経印刷(株)	(東京・千代田)
4位	加々美 真絹	電算印刷(株)	(長野)
5位	清水 利恵	(株)北斗プリント社	(京都)
6位	渡邊 陽子	大村印刷(株)	(一般)
7位	渡部 高志	(株)東北プリント	(宮城)
8位	伊勢川 綾	(株)ニシキプリント	(広島)
9位	大石 理恵	(株)ニシキプリント	(広島)
10位	西野 学	(株)サンワ	(東京・千代田)
12位	百瀬 喜久美	電算印刷(株)	(長野)
12位	津端 優	(有)めぐみ工房	(新潟)

④ 表彰について

(a) 第1次審査と第2次審査の合計得点上位者で総合順位を決定した。

(b) 上位3位は下記3名で、11月10日の全国協議会で1位を表した。1位～3位に賞状と楯、ファイナリスト全員にロゴ入り認定証を贈った。

1位	大貫 恵理	日経印刷(株)	(東京)
2位	富永 朋子	陽光社印刷(株)	(福島)
3位	西野 学氏	(株)サンワ	(東京)

(2) ジャグラコンテスト第4回の実施

平成30年もコンテスト第4回を開催することが決定した。競技テーマはIllustratorとInDesignの2種目として実施する。募集対象はジャグラ会員企業に所属するオペレーターおよびジャグラ会員からの紹介を受けた会員外企業、ジャグラスクール受講生。第1次審査では、会社や自宅で取り組む制作課題をWeb経由で提出することとし、第1次審査上位得点者から選抜された10名で第2次審査の実技試験をおこない、優勝者を決定する。参加費は会員1種目10,000円/2種目16,000円。会員外は1種目12,000円(すべて税込価格)。

① 推進体制

コンテストの推進は、教育・技術委員会の選抜メンバーと外部専門委員によるジャグラコンテスト推進部会で実施する。部会長は笹岡誠理事(東京)が担当する。

② 問題作成とフィードバック

試験問題と採点基準は外部専門委員の力を借りて作成する。1次審査課題は小問題を2～3問出題予定で、DTPおよび印刷知識を測る課題を出題する。提出方法は、課題用素材をサーバからダウンロードして課題を作成し、期限までにアップロードされたものを採点員が採点し、結果をレポートで会社と受験者本人にフィードバックする。2次審査試験はジャグラDTP教室で実施し、1次審査と2次審査の合計得点で総合優勝者を決定する。優秀者が作成した模範解答を機関誌やジャグラBBで解説する。

③ スケジュール

[平成30年]

4月	募集開始(4/2～)
5月	募集締切(～6/8)
6月	Illustrator 1次審査課題データダウンロード開始(6/15)
7月	Illustrator 1次審査課題提出締切(7/17)
	InDesign 1次審査課題データダウンロード開始(7/6)
8月	InDesign 1次審査課題提出締切(8/7)
	1次審査採点(～9月中旬)
9月	1次審査順位発表(9月下旬)
	採点レポート発送(下旬～10月上旬)
10月	2次審査実施(10/13)
	2次審査採点・総合順位決定(10月下旬)
	総合順位発表(10月下旬)

5. POD ワーキンググループ

デジタル印刷機を導入する企業が増えたという実感はあったが、オフセット機とデジタル印刷機の割合やどのような使い方をしているかなどの実態がわからなかった。今後は印刷オペレーターの高齢化や採用難などでデジタル印刷機の存在感が増すとされている。POD ワーキンググループ会議ではキャノンプロダクションプリンティングシステムズ(株)、コニカミノルタジャパン(株)、富士ゼロックス(株)、リコージャパン(株)の協力を得ながら、デジタル印刷機の使用実態や活用事例を紹介していく。2017年4月から1年間ということ動き出したが、さらに1年間継続して推進する。

(1) POD アンケートの結果

POD アンケートを実施した。443社から回答を得て、回収率が50%を超えた。PODに関する関心の高さが伺えた。アンケートの結果、オフセット機を所有している会員は69.1%でデジタル印刷機を所有している会員は74.9%であった。また、今後の生産機についてはオフセット、デジタル両方を活かすとした会社は52.6%、デジタルが主力と回答したのは23.7%、オフセットを活かすとの回答は9.9%であった。自由回答については、多い順に①事例を知りたい②料金・コスト③技術の情報を得たいという回答であった。アンケートの結果は機関誌7月号に掲載した。

(2) ジャグラ会員取材の件

ジャグラ会員を中心に菅野専門委員が取材を行った。

- | | | |
|--------------|-----------|-----------|
| ・アート印刷(株) | (香川県支部) | 機関誌10月号掲載 |
| ・(株)一粒社 | (愛知県支部) | 11月号掲載 |
| ・(株)YCドキュメント | (東京・中央支部) | 1月号掲載 |

(3) ショールーム見学

平成29年10月13日(金)に大塚商会主催のPOINT2017、コニカミノルタジャパン(株)のデジタルイメージングスクエア、富士ゼロックス(株)お客様価値創造センターの見学とミニセミナーを実施した。また、平成30年3月2日(金)に(株)リコージャパンのリコーカスタマーエクスペリエンスセンターとキャノンプロダクションプリンティングシステムズ(株)のカスタマーエクスペリエンスセンターの見学とミニセミナーを実施した。

(4) インタビューの実施

賛助会員にインタビューする企画の一環で、キャノンプロダクションプリンティングシステムズ(株)、コニカミノルタジャパン(株)、富士ゼロックス(株)、リコージャパン(株)にインタビューを実施し、機関誌に掲載する。インタビュアーは原田大輔リーダーで、菅野孝市専門委員が編集を行う。

6. 作品展

(1) 平成28年度ジャグラ作品展

平成28年度ジャグラ作品展は、前年度のスケジュールを踏襲して実施した。

その結果、入賞作品は次の通り決定した。

表彰式は、平成29年6月10日に開催されたジャグラ文化典岩手大会文化典式典の席上にて執り行ったほか、入賞作品の展示をした。

平成 28 年度ジャグラ作品の入賞作品一覧

《出版印刷物》

順位賞	作品名	社名	支部名
経済産業大臣賞	北アルプス魅せられた山々 小林良生 写真集	(有)一粒社	愛知県
経済産業省商務情報政策局長賞	小出 菟 切り絵の世界 平家物語絵 巻	(株)新潟印刷	新潟県
全国中小企業団体中央会会長賞	絵本「ねずみくんとおおきなチーズ」	恵友印刷(株)	東京都
一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞	愛しの太秦 ヤッソの幼き日	(株)北斗プリント社	京都府
一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会長賞	石を投げるな -ことわざ、伊・独・英 併記手帳-	サンライズ出版(株)	滋賀県
印刷時報株式会社賞	世界の果てまで美を求めて (伊奈正彦)	(株)横浜プリント	神奈川県
株式会社印刷出版研究所賞	「りくらす」「わくらす」	ソーゴー印刷(株)	北海道
作品展審査会委員長賞	我が人生 緑の山河 -造形の楽しみ-	(株)一関プリント社	岩手県
優秀賞	ぼく、ニホンオオカミになる！！	(株)リーブル	高知県

《宣伝印刷物》

順位賞	作品名	社名	支部名
経済産業大臣賞	Le Fleuron	(株)システムジャパン	東京都
経済産業省商務情報政策局長賞	ANNUAL REPORT 2016	望月印刷(株)	東京都
全国中小企業団体中央会会長賞	タトー株式会社案内	(株)サンワ	東京都
公益社団法人日本印刷技術協会会長賞	斎藤清 13 枚綴りカレンダー	陽光社印刷(株)	福島県
一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会長賞	徳島県塩業写真資料集	グランド印刷(株)	徳島県
株式会社日本印刷新聞社賞	こうづしま観光パンフレット(島外用)	(株)興栄社	東京都
作品展審査会委員長賞	あいちビジネス専門学校 学校案内	(株)荒川印刷	愛知県
優秀賞	DYNAMIC LANDSCAPE PHOTOGRAPHY	(株)リーブル	高知県

《業務用印刷物》

順位賞	作品名	社名	支部名
厚生労働大臣賞	2015 OMF レポート	川越印刷(株)	長野県
厚生労働省職業能力開発局長賞	会社案内	(株)クイックス	愛知県
全国中小企業団体中央会会長賞	ひがしいわいの校歌集	トーバン印刷(株)	岩手県
日本印刷機材協議会会長賞	新潟県埋蔵文化調査報告書 堂古遺跡・下割遺跡Ⅵ・二反割遺跡Ⅱ	(株)新潟印刷	新潟県
一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会長賞	「高野山開創千二百年記念 奉賛献書」 図録	(株)ウイング	和歌山県
株式会社ビバン賞	第80回記念 新制作展 (新制作協会)	(株)横浜プリント	神奈川県
印刷タイムス株式会社賞	備中水田国重の研究	(有)みがき栄伸堂	岡山県
作品展審査会委員長賞	高松市医師会史	(株)美巧社	香川県
佳作	穂高病院 50周年記念誌	(株)第一印刷	長野県

《開発・開拓》

順位賞	作品名	社名	支部名
厚生労働大臣賞	手作りコーヒー (ミルク) ペーパーの葉	(株)グッドクロス	東京都
厚生労働省職業能力開発局長賞	ヘアサロン ビューティアトリエグループ イメージリニューアル計画 (ロゴマーク・セールスコンセプト・キャラクターを含む広告作成)	(株)みやもと	栃木県
全国中小企業団体中央会会長賞	和紙 (わがみ) ファイル	(株)ウイング	和歌山県
学校法人日本プリンティングアカデミー学校長賞	「絵本」いしころガイネとはくさんきょうりゅうパークしらみね 「絵本」いしころガイネとおおのからくりきねんかん	(株)栄光プリント	石川県
一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会長賞	災害発生時 安全行動キット	(株)野毛印刷社	神奈川県
ニュープリンティング株式会社賞	家族を守る防災セット	ハウユウ(株)	大阪府
作品展審査会委員長賞	「神戸大学国際人間科学部」広報ツールデザイン一式 2017年に新学部として開設された神戸大学国際人間科学部様の広報支援、ブランド価値向上	(株)トライス	兵庫県
佳作	おりがみカレンダー	(株)クイックス	愛知県

〔審査の経緯〕

①募集

平成28年1月1日より平成28年12月31日までに印刷（完成）された作品を対象に、平成29年1月1日より29年3月31日まで募集した。部門は次の4部門とした。

部門	出版印刷物部門	宣伝印刷物部門	業務用印刷物部門	開発・開拓部門
対象作品	単行本、文芸書、教科書、学術参考書専門書、法規集、写真集、雑誌、ハンドブック、自費出版、定期刊行物、復刻版など	カタログ類、ポスター、ダイレクトメール、リーフレット、チラシ、POP、パンフレット、カレンダー、PR誌、各種案内書など	研究報告書、文集、記念誌、機関誌、便覧、手引書、名簿、会議資料、大会等資料、会報、年報、リスト、パーソナルユース(年賀状、レターヘッド、ハガキ、名刺、など)など	新商品、新機器・新手法・新技法による作品、販促成功例、商品、活路開拓・需要拡大商品、未来ビジネスへの足掛かり商品、自社企画による印刷物、印刷物以外の商品、間接的に生産された印刷物、ソフト・サービスCD-ROM等のマルチメディア
概要	いわゆる出版物と言われる印刷物	宣伝的要素の強い印刷物で、主としてカラー印刷物や凝った印刷物	斯業が主流としてきた印刷物。また商業印刷物のうち、モノクロ印刷物も含む	拡印刷を目指す技術・商品の開発・新技術の開発、営業要素が強い作品(全工程外注の作品)・サービスなど

②応募作品数

本年度は、審査会を部門決定の第一次審査、最終審査への通過作品決定の第二次審査を行った。第一次審査会と第二次審査会は4月6日（木曜）に同日開催とした。

尚、今年度の応募数は下記の通りとなった。

	28年の応募	通過作品数	賞の数
[A]出版印刷物部門	113	13	9以上
[B]宣伝印刷物部門	103	13	8以上
[C]業務用印刷物部門	116	14	9以上
[D]開発・開拓部門	110	13	8以上
合計	442	53	34以上

③平成28年度ジャグラ作品展審査委員名簿

【第一次及び第二次審査の審査委員】

氏名	役職	役職	会社名	都道府県	区分
岡澤 誠	委員長	理事	(有)中溝グラフィック	神奈川県	業界委員
中村 耀	委員	会長	NS印刷製本(株)	東京都	業界委員
沖 敬三	委員	専務理事	J a G r a	東京都	業界委員
菅野 潔	委員	副会長	(株)興栄社	東京都	業界委員
熊谷正司	委員	教育技術	(株)くまがい印刷	秋田県	業界委員
笹岡 誠	委員	教育技術	(有)ドゥ・プラン	東京都	業界委員
青木 滋	委員	マーケティング	西武写真印刷(株)	東京都	業界委員
渡辺正晴	委員	自費出版	(株)三盛社	東京都	業界委員
川井信良	委員	自費出版	(株)文伸	東京都	業界委員
岩根順子	委員	自費出版	サンライズ出版(株)	滋賀県	業界委員
原田大輔	委員	東京都支部	(株)グッドクロス	東京都	業界委員
尾形文貴	委員	千葉県支部	(株)みつわ	千葉県	業界委員
栗原一幸	委員	神奈川県支部	(有)協立印刷社	神奈川県	業界委員
谷 麻雄	委員	(員外)	DTP 教室講師	千葉県	学識経験者

【最終審査の審査委員】

機関	役職	ご芳名
経済産業省商務情報政策局メディアコンテンツ課		(ご欠席)
厚生労働省職業能力開発局能力評価課		(ご欠席)
全国中小企業団体中央会	人材育成部参事	鈴木 亮三 殿
一般社団法人日本印刷産業連合会	常務理事	杉村 玄一郎 殿
公益社団法人日本印刷技術協会	研究調査部課長	千葉 弘幸 殿
日本印刷機材協議会	副会長	伊藤 年明 殿
学校法人日本プリンティングアカデミー	学校長	猪俣 康之 殿
株式会社印刷出版研究所	取締役編集部長	金澤 克明 殿
株式会社日本印刷新聞社	取締役	新井 秀夫 殿
印刷タイムス株式会社		(ご欠席)
株式会社ビバン	編集長	時田 清 殿
ニュープリンティング株式会社	代表取締役	楠本 英夫 殿
印刷時報株式会社	取締役東京支社長	松村 雄司 殿
一般社団法人日本グラフィックサービス工業会	コンクール委員長	岡澤 誠

※最終審査委員長は岡澤 誠が務める

(2) 厚生労働省よりの指導

厚生労働省より、作品展の交付する大臣賞の審査基準について、「技能」「技術」についての審査基準を厳格に運用するよう口頭にて指導があった。

については、平成28年度ジャグラ作品展の審査においては、審査員にその旨を周知して実施することにした。

(3) 平成29年度ジャグラ作品展

平成29年度ジャグラ作品展は、昨年同様の実施要項で実施した。また、自費出版ネットワークに加入している会員には、あらためて自費出版文化賞に応募する作品をジャグラ作品展にも応募するよう要請した。

平成30年1月1日	募集開始
平成30年3月31日	募集締め切り
平成30年4月6日	第一次審査、第二次審査同日開催
平成30年4月13日	最終審査
平成30年6月2日	ジャグラ文化典福岡大会にて表彰式ならびに作品展示

〔4〕経営革新

1. 年賀状デザインコンテスト

(1) 第5回成年年賀状デザインコンテスト

第5回成年年賀状デザインコンテストを実施した。平成29年4月より募集を開始し、会員企業64社より426点、学生18校より235点で合計661点の応募があった。去年は会員企業63社より397点、学生18校より205点で合計602点の応募実績であった。

募集部門は「カラー部門」、「モノクロ部門」、「学生部門」、「喪中部門」、「クリスマスカード部門」で実施した。

これらの作品の中から、カラー部門会長賞を(株)タカトーププリントメディア(広島)、モノクロ部門会長賞を(有)ハピネス情報処理サービス(東京・千代田)、学生部門会長賞を東日本デザイン&コンピュータ専門学校の野中夏音氏が受賞した。会長賞の受賞式は11月10日の全国協議会の席上で実施した。

また、メーカー賞、優秀賞、作品賞など合計100点(賞金総額100万円)を受賞作としてホームページおよび機関誌8月号で発表した。

受賞作で見本帳(A3判両面×2頁)を作成し、機関誌9月号に同封し、8月18日より会員企業がダウンロードして、無償で商用利用できるようにした。ダウンロードする年賀状データはPDFとIllustratorCS4、IllustratorCS6、JPEG形式の4種類を用意した。さらに見本帳データはIllustratorCS6、PDF、面付PDFの3種類用意した。また、「年賀状承ります」のポスター2パターン(PDF、JPEG、IllustratorCS6)、「喪中はがき印刷承ります」のポスターやカラー、モノクロ(Illustrator、PDF、JPEG)文例サンプル(Illustrator、PDF)のデータもダウンロードできるようにした。

賛助会員を中心に、協賛申し込みを募った。協賛企業は、富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ(株)、(株)ショーワ、キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ(株)、コニカミノルタジャパン(株)、ダイヤミック(株)、富士ゼロックス(株)、富士ゼロックス東京(株)、(株)ムサシ、(株)モリサワ、リコージャパン(株)、リョービMHI グラフィックテクノロジー(株)の合計11社であった。

【上位受賞者リスト】

受賞	支部	企業名・学校名および氏名（敬称略）
カラー部門 会長賞	広島	(株)タカトープ rintメディア
モノクロ部門 会長賞	東京	(有)ハピネス情報処理サービス
学生部門 会長賞	群馬	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 野中夏音
FFGS 賞	東京	日経印刷(株)
ショーワ賞	新潟	(有)めぐみ工房
コニカミノルタ賞	愛知	(有)クイット
モリサワ賞	熊本	(株)アクセス
リョービMHI 賞	広島	(株)ニシキプリント
キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ賞	愛知	名古屋モード学園 鈴木結花
富士ゼロックス賞	宮城	デジタルアーツ仙台 坂本真凜
富士ゼロックス東京賞	熊本	(株)アクセス
リコージャパン賞	愛知	(有)クイット
ムサシ賞	宮城	デジタルアーツ仙台 佐々木麗亜
ダイヤミック賞	岩手	(有)ジロー印刷企画

(2)年賀状アンケートの実施

平成30年1月に全会員に年賀状に関するアンケートを実施し151社（前回は116社）より回答を得た。「毎年とても助かっている。デザインの種類が年々増えて充実している」「見本帳、データが揃っていてすぐに使える」と好評で会員企業の利用がさらに進んだと感じた。デザインクオリティについて「大変満足」と答えた会員が3割をこえ、デザインレベルが年々高まっているとの評価を得た。また、来年も使いたいと回答した企業が9割をこえた。

(3)第6回成年年賀状デザインコンテストの募集

募集を2018年4月2日より開始する。募集部門は「カラー部門」、「モノクロ部門」、「学生部門」、「喪中部門」のほか、今年から「バースデーカード部門」を新設した。募集対象はジャグラ会員およびデザイン専門学校の学生のほか、ジャグラ会員と取引があるデザイナーで、募集締め切り6月15日(金)、結果発表7月19日(木)、ダウンロード開始8月17日(金)、表彰式11月9日(金)で。

賛助会員を中心に協賛企業から協賛金を募集する。賞金80万円で受賞作品は100点を集める。

応募状況により点数が増減するため、目安とする。

会長賞カラー部門	1点×5万
会長賞モノクロ部門	1点×5万
会長賞学生部門	1点×3万
協賛企業賞	11点×1.5万

喪中案内部門	1点×1万
バースデーカード部門	2点×1万
優秀賞	12点×1万円
作品賞	71点×0.5万円
作品点数合計	100点賞金合計80万円

2. 補助金・助成金関連事業

各種補助金、助成金の活用事例、助成金申請書作成フォローなど、助成金に関する情報提供および獲得するための支援策などについて検討をおこなった。

3. 労務管理に関する事業

製造業の就業規則について情報収集するなど、労務管理について検討した。

4. CSR (BCP)

(1) 事業の方向性

CSR (BCP) 部会は東京グラのCSR委員会と共同開催している。CSR (BCP) 部会ではBCP およびBCMの普及と啓蒙を行う。具体的にはBCPセミナーや見学会を実施し、会員企業のBCP策定を推進する。

(2) 被災地訪問

ジャグラ文化典岩手大会の観光で宮古市、山田町、大槌町、三陸方面の被災地を巡った。途中、(株)プランニングマーケット(東京・港支部)が大槌町に設けた事業所、デジタルブックプリント(株)に立ち寄り、代表者から話を聞いた。

〔5〕市場開拓・マーケティング

(1) 活動の内容

市場開拓・マーケティング委員会は、昨年に引き続き①事業承継 (M&A 含む)、②クラウドサーバ (アマゾン、グーグル、他)、③マーケティング実践…の事業をメインの柱にすることにして取り組んできた。(ECサイトの評価はなしにしている)

(2) 事業承継 (M&A 含む) について

事業承継 (M&A) は、ジャグラ会員も関心のある内容であるが、実際にはどこに相談して良いか分からないという声が多いので、そういった声に応える内容の座談会・対談の形式を借りて情報提供をすることにした。(昨年と同じ)

回次	対談相手 (所属・役職) 敬称略	委員会	機関誌掲載
第一回	米田和秀 (100年経営企業家倶楽部会長)	齋藤委員長・早坂委員	H28-12号
第二回	山田一步 (FB マネジメント代表取締役)	早坂委員	H29-02号
第三回	田中信一 (BCI 代表取締役)	早坂委員・岡委員	H29-03号
第四回	根本賢治 (りそな銀行)	齋藤委員長・早坂委員	H29-05号
以上は昨年までの実績			
第五回	田中 肇 (たなか経営研究所 代表)	池邊委員・早坂委員	H29-07号
第六回	岸徹委員 vs 松下忠委員の対談	早坂委員	H29-08号

委員会では、第六回の岸徹委員 (兵庫県・(株)トライス) と松下忠委員 (和歌山県・(株)ウイング) が事業承継を数年前に経験したことから、体験談を披露していただく形での対談を実施したが、事業承継のすべてがここに集約しているのではないかとの高い評価となった。

(3) クラウドサーバ (アマゾン、グーグル、他) の活用について

クラウドサーバの利用方法によっては、フレキシブルなサーバ構成にて事業展開できる事例があり、大阪府支部会員の高野博史講師 ((株)ターン・アンド・フロンティア) を招いて事情を把握していたが、今年度はこのサービスについてはのセミナーを地方協議会別に開催し、全国展開するために地方協議会会長にセミナー開催を呼びかけた。

その結果、次のとおりセミナーを開催した。

地協	月日	場所	備考
東北	H30-02-16 (土)	宮城・ハーネル仙台	地協幹事会

関東	H29-09-02 (土)	山梨・華やぎの章 甲斐路	地協総会
東京	H29-07-05 (水)	ニッケイビル	東グラ教育委員会と共催
近畿	H29-10-18 (水)	大阪・JP ビル	近畿地協・OGS・平成会と共催
中国	H29-07-29 (土)	セントラルホテルフクオカ	九州地協・玄青会と共催
九州	H29-07-29 (土)	セントラルホテルフクオカ	中国地協・九州地協・玄青会と共催

(4) マーケティング実践

市場開拓・マーケティングの本質として、マーケティングの実践をしたらどうか、との観点から飲料メーカーのマーケティング実践を実施することにしてきた。

ただし、前年度は飲料メーカーのヒアリングも実施してきたが、年度途中で飲料メーカー側担当者が入院したため、実践までには至っていなかったが、今年度になってもヒアリングできず、アウトプットには至らなかった。

〔6〕環境

(1) グリーンプリンティング認定制度への対応

一般社団法人日本印刷産業連合会が主催するグリーンプリンティング認定制度について、普及啓蒙を図った。現在ジャグラの取得企業数は12社で他団体も含め全体では387社。取得希望の会員に対し情報提供などサポートを実施した。また、日印産連が実施した「印刷と私」というエッセイコンテストについてPRを行った。

(2) 環境優良工場表彰への対応

一般社団法人日本印刷産業連合会が推進する第16回印刷産業環境優良工場表彰について、ジャグラ会員に参加を呼びかけた。結果、ジャグラから大阪府支部の石川特殊特急製本(株)が奨励賞を受賞した。また、第17回印刷産業環境優良工場表彰のパンフレットと応募票を機関誌12月号に同封し募集した。ジャグラから13社応募があり、そのうち3社が第2次審査に進んだ。応募期間は第1次が平成29年12月1日～平成30年2月9日で、第2次は平成30年2月26日～平成30年4月20日である。

(3) 環境委員会の取材

環境委員会では、GP認定取得や環境優良工場表彰を取得するなど環境に取り組む企業を訪問し、インタビューを実施している。今回は8月24日に2016年に環境優良工場表彰奨励賞を受賞した北海道支部の(株)プリプレス・センターを訪問し見学会とインタビューを実施した。インタビューの様子はジャグラBBおよび機関誌11月号で紹介した。

(4) 機関誌の記事掲載

機関誌12月号から3回にわたり、グリーンプリンティング認定制度について連載を行った。グリーンプリンティング認定制度に限らず、企業が果たすべき社会的責任として、作業の効率化や社員の健康管理、CO₂排出量などについて解説を行った。

- ・12月号 GP認定制度(日常作業の効率化・社員の健康管理・社会的な信頼のために)
- ・1月号 GP認定制度(CO₂排出量削減は経済効果を生み出す)
- ・2月号 GP認定制度(VOC排出を抑制し、社員の健康を守る)

〔7〕個人情報保護

1. 個人情報保護委員会とプライバシーマーク審査会の体制について

一般社団法人日本グラフィックサービス工業会と公益社団法人東京グラフィックサービス工業会(菅野潔会長)は、合同で個人情報保護委員会とプライバシーマーク審査会を運営している。

また、今年度は公益社団法人東京グラフィックサービス工業会個人情報保護委員もオブザーバーとして臨席している。

個人情報保護委員会名簿

役職	区分	氏名	役職	その他
委員長	業界	野田 晃司	ジャグラ理事	(株)ジェーピークリエイト
委員	業界	樋貝 浩久	ジャグラ副会長	(有)東和プリント社

委員	業界	林田 桂一	東京・城東支部	(株)東京文久堂
専門委員	外部委員	清水 良二	弁護士	清水弁護士事務所
専門委員	外部委員	木下 堯博	工学博士	国際印刷大学校学長
専門委員	外部委員	三浦 澄雄	サレジオ工専名誉教授	日本大学講師
専門委員	外部委員	福長 恵子	(公社)日本消費生活 アドバイザー・コンサル タント協会	東日本支部長
オブザーバー		深海 正洋	東京・港	(株)エムツークリエイト
オブザーバー		中村 盟	東京・新宿	(株)ユニバーサル

個人情報保護委員会監査人名簿

役職	区分	氏名	役職	その他
監査人	業界	生田 一彦	東京都支部	(株)生田商会

審査会名簿

役職	区分	氏名	役職	その他
会長	外部委員	清水 良二	弁護士	清水弁護士事務所
委員	業界	野田 晃司	ジャグラ理事	(株)ジェーピークリエイト
委員	業界	樋貝 浩久	ジャグラ副会長	(有)東和プリント社
委員	業界	林田 桂一	東京・城東支部	(株)東京文久堂
専門委員	外部委員	木下 堯博	工学博士	国際印刷大学校学長
専門委員	外部委員	三浦 澄雄	サレジオ工専名誉教授	日本大学講師
専門委員	外部委員	福長 恵子	(公社)日本消費生活 アドバイザー・コンサル タント協会	東日本支部長
オブザーバー		深海 正洋	東京・港	(株)エムツークリエイト
オブザーバー		中村 盟	東京・新宿	(株)ユニバーサル

2. プライバシーマークの普及

受付合計	113 社 (前年実績 98 社) (累計件数 1153 社)
新規申請	15 社 (前年実績 5 社)
更新申請	96 社 (前年実績 90 社)
合併申請	2 社 (前年実績 3 社)

	全国			ジャグラ			東グラ		
	合計	新規	更新	合計	新規	更新	合計	新規	更新
受付数	113	15	98※2	58	7	51※1	55	8	47※1
現地審査数	107	15	92※2	50	7	43※1	57	8	49※1
認定数	105	12	93※2	50	5	45	55	7	48※2
打切・辞退数	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※1=合併1社を含む

※2=合併2社を含む

プライバシーマーク付与事業者数（開催回別）

	新規	更新	合併	決定合計	打切・辞退
29年5月		12社	1社	13社	
29年7月	1社	15社		16社	
29年9月	2社	10社		12社	
29年10月	2社	9社		11社	
29年12月	3社	15社	1社	19社	
30年2月	3社	19社		22社	
30年3月	1社	11社		12社	
年度合計	12社	93社	2社	105社	

※参考 ジャグラ会員におけるプライバシーマーク付与事業者会員数は、平成30年3月31日現在205社である

3. プライバシーマーク付与事業者（会員事業所）の個人情報事故について

事故の報告は1件あった。

①人材派遣の会社で派遣終了時の離職票を送付する際、別人と間違えて送付した（漏えい2件）＝欠格レベル1＝前年度の調査依頼案件と同じ

いずれも欠格を判定し、事業者、JIPDECに連絡した。

4. 調査依頼

今年度、調査依頼はなかった。

5. 苦情について

苦情件数 0件

6. PMS 構築相談室の開設

平成21年12月より、PMS 構築相談室を開設している。

今期の相談件数＝1件

7. 個人情報保護の推進

(1) 「印刷・グラフィックサービス工業の個人情報保護ガイドライン」の策定

平成29年5月30日改正個人情報保護法（改正保護法）の施行と12月20日JIS Q 15001-2017「個人情報保護マネジメントシステム－要求事項」（新JIS）が公表されたことから、ジャグラでは改正保護法と新JISに対応した印刷・グラフィックサービス工業のガイドラインを策定することにした。

作成に当たっては、個人情報保護委員会にワーキンググループを設置して作成した。

委員	役職	備考	その他
野田 晃 司	理事	WG 委員長	
中村 盟	東京・新宿		
林田 桂 一	東京・城東		
斎藤 成	プライバシーマーク推進センター長（東グラ専務理事）		

(補足)

WGは平成30年4月2日、5月10日に開催し、ジャグラの個人情報保護ガイドライン第3版（案）として策定した。

平成30年5月16日開催予定の個人情報保護委員会の承認を得て、平成30年6月2日開催の理事会に提案する予定である。

(2) 個人情報保護研修会の開催

東京にて研修会を開催したほか、機関誌等で個人情報保護の推進を図った。

① 研修会の開催

単位	月日	場所
東京	H30-02-26	東京・新富町「日本印刷会館会議室」

内容は、改正法の解説（講師：内閣府）、新JISの解説（講師：JIPDEC）。

② 機関誌

機関誌にて、情報提供を図った。

- ・平成29年5月号：「改正個人情報保護法への対応を！」
- ・平成29年10月号：「平成28年度「個人情報の取扱いにおける事故報告にみる傾向と注意点」について」
- ・平成30年2月号：「JIS改正に伴うPMS変更の留意点①」
- ・平成30年3月号：「JIS改正に伴うPMS変更の留意点②」

8. その他

ナシ

〔8〕SPACE-21

【平成29年】

4月22日

第27回総会・工場見学会（埼玉県：2事業所、東京都：懇親会）※総会はバス車中にて開催

平成29年4月22日に開催したSPACE-21総会は、運営主幹する東京FACEメンバーのアイデアにより、バスツアー形式となった。観光バスをチャーターし、菁文堂(株)（埼玉県越谷市）、斎藤商会（埼玉県戸田市）の2社を見学した。総会はバス車中にて移動中に行った。

懇親会は浅草の「トンテキ元気」にて開催し、ジャグラー中村会長、ジャグラー文化典岩手大会実行委員長の菅原岩手県支部長が激励に駆け付けた。参加者は43名。

8月25～26日

SPACE-21幹事会in高知（高知県高知市：かるぽーと 他）

今年4月に正式発足したSPACE-21高知との交流を持つため、今期の地方幹事会は高知県で開催することとなった。8月25日の夜、寿し柳はりまや橋本店にて勉強会と交流会を開催した。第一部は(株)リーブルの坂本圭一朗氏による講演、第二部は高知県支部の面々との交流会。二次会は場所を移して料亭「濱長」にて、土佐稽古の舞やお座敷遊びを通じて交流を図った。

26日は朝9時より高知市立中央公民館「かるぽーと」にて幹事会を開催した。参加者は30名。

9月30日

幹事会（岐阜県岐阜市：長良川温泉岐阜グランドホテル）全国協議会岐阜大会

岐阜県岐阜市の長良川温泉岐阜グランドホテルにて全国協議会岐阜大会を開催した。運営主幹は愛知県青年部の愛青会。ジャグラー空白地となる岐阜の地で開催するにあたり、岐阜県および近隣県の印刷工業組合の多大なる支援を頂いた。参加者は過去最大級の175名にのぼった。当日は式典のほか、セミナー、懇親会のあとには長良川の名物となっている鵜飼いを堪能した。二次会は23時まで続き、組織の垣根を超えた交流があった。

また、翌日はジャグラー運営基盤戦略会議が開催された。参加者は幹事会20名、全国協議会175名。

11月11日

幹事会（東京都中央区：ジャグラー本部会議室）

ジャグラー全国協議会の翌日11月11日に東京中央区のジャグラー本部会議室にて幹事会を開催した。3時間に渡る協議の後は会館から徒歩1分の場所にある行列の出来るお肉屋さん「ミキスケ」を貸し切り、懇親会を行った。懇親会より、東京FACEメンバー、大阪から参加した平成会メンバーを加えてA5ランクの高級牛肉を堪能しつつ交流を深めた。参加者は20名。

12月2日

Next-Oita 12月セミナー（大分県大分市）

JR大分駅前にあるホルトホール大分2階セミナールームにて「Next-Oita12月セミナー」を開催した。セミナーでは「国東時間」と「ものづくり」～地方から世界へ～をテーマに(株)アキ工芸社の松岡勇樹氏に講演頂いた。d-torsoは同社が開発した立体造形システムで当初は「段ボール製組み立て式マネキン」からスタートした。現在では動物を主体としてさまざまな企業とコラボレーションしキャラクター商品を世に出している。最近では週休3日制を行う事により新聞やテレビに取り上げられたが、d-torsoの生い立ちエピソードから会社が成長していく過程、また、そもそも“週休3日制”に至った“国東時間”の働き方などについて講演頂いた。

懇親会は場所を「ふく亭」に移して旬の大分ふく料理を堪能しつつ交流を図った。参加者はセミナー50名。懇親会30名。

※SPACE-21活性化事業（助成対象）

【平成30年】

1月27日

SPACE-21東北ブロック新春ミーティング（秋田県秋田市）

平成30年1月27日（土）、秋田県秋田市にてSPACE-21東北ブロック新春ミーティングを開催した。まずは、メンバーでもある秋田協同印刷(株)様の工場見学。生産ラインを隅々まで見せて頂いた。ワンストップサービスに重点を置き、県内はもとより首都圏からの受注を伸ばしている。その後は高清水醸造元秋田酒類製(株)の酒蔵を見学した。日本酒が出来るまでの工程を見せて頂き試飲もさせていただいた。

懇親会は秋田郷土料理のお店「ふじ繁」で開催。交流を深めた。参加者は10名（秋田、岩手、宮城）

※SPACE-21活性化事業（助成対象）

2月2日

SPACE-21石川ドローン活用セミナー（石川県金沢市）

平成30年2月2日（金）、金沢勤労者プラザにて「ドローン業界の現状と活用に向けて～異業種分野で地域活性化へ挑戦～」をメインテーマに、(株)くまがい印刷 専務取締役 熊谷健司氏をお招きして講演していただいた。参加募集は他印刷関係団体4団体に告知し、ジャグラの会員拡大広告として活用できた。参加者の多くはドローンが目の前を飛んでいるのを見た事がある人が少なく、室内ではあるが小型のドローンを実際に飛ばして実演頂いた。時間の関係上、参加者全員に体験してもらおう事が出来なかったが、操縦した方々はとても感動していた。これから数年、ドローン市場は右肩上がりの予測だが、私達の印刷業界でドローン事業を展開していくには、もっと工夫した取り組みで展開していく事が必要不可欠となってくる。

懇親会は「まぐろがんち」にて、参加者との交流を深めた。参加者は35名

※SPACE-21活性化事業（助成対象）

2月10日

PrintNext2018（大阪府大阪市：大阪中央公会堂）

印刷青年3団体が共同で開催するPrintNext2018が大阪で開催された。今回のPrintNextは「強い会社になる為に、そして企業を永く継続する為に。強い会社とはなにかを見出し、次世代に自社が魅力的な会社だと思わせてやる！」をメインテーマとし、様々なコンテンツを用意した。プリネクカップ大坂の陣では、全国8ブロック

（北海道、東北、関東甲信越、東京、中部、中国、四国、九州）での取り組みが発表された。プリネクカップは参加者がスマートフォンにQRコードをかざして専用サイトにアクセスし投票を行った。投票の結果は懇親会で発表され、企画賞に東北ブロック、チームワーク賞に九州ブロック、達成賞に関東甲信越ブロックが選ばれた。最高賞である最優秀賞は東京ブロックの「ビジネスを楽しもう♪製造業がサービス業やったらこんななった！」

（稲満信祐リーダー）が選ばれた。また、「未来の印刷大賞」では、杉山京志郎さんの作品「生物体内透視スキャンと同材質3Dプリント装置」が最優秀賞に選ばれた。参加者は600名超と当初の予定を大幅に超える結果となった。

2月11日

幹事会（大阪府大阪市：CIVIコンベンションセンター会議室）

2月11日（日）午前10時より、新大阪駅近くの貸し会議室にてSPACE-21幹事会を開催した。SPACE-21幹事14名と臨席者6名の計20名が参加した。佐藤元代表幹事の挨拶では、昨日開催されたPrintNext2018を振り返り、運営専務という重役を拝命して無事終えることが出来たこと、プリネクカップでは東京の稲満幹事がリーダーを務めた東京ブロックが最優秀賞を受賞したことでSPACE-21の存在感を示すことが出来たことなど

が述べられた。議題は、PrintNext2018報告から、全国協議会山梨大会の進捗報告、SPACE-21東京総会の進捗報告、広報事業の報告、新ロゴについての審議、全国各青年部の活動報告、マーケティング委員会事業報告、東北ブロックが宮城県仙台市にて全国協議会を開催することを決定した件の報告、幹事交代の報告、ひろく人を救う会の経過報告、今後のスケジュールについて確認を行った。最後は今期を以て幹事を退任する宮崎幹事からの閉会の挨拶で締めくくられた。参加者は20名。

平成29年度は、延べ983人のジャグラー及びSPACE-21メンバーがSPACE-21の活動に参加しました。

以上